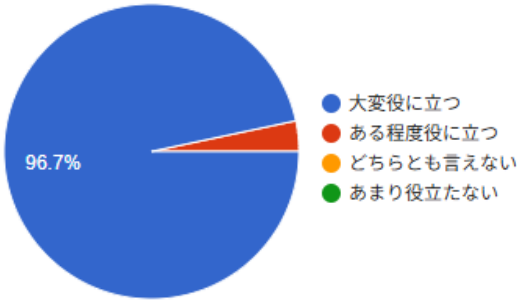


R7年度保土ケ谷区疾患別医療・介護連携事業  
12/9開催「摂食嚥下多職種連携研修」アンケート結果  
参加者39名(講師・関係者4名含む) 回答者：30名 回答率：86%

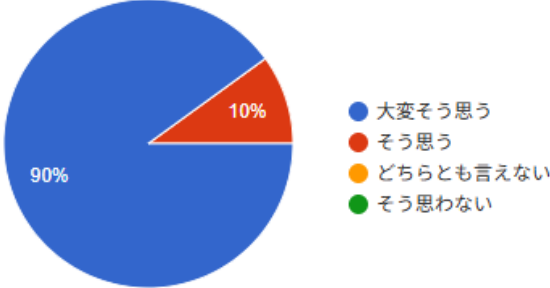
参加者

職種	参加人数
医師	5
歯科医師	5
保健師・看護師	11
リハビリ職(PT/OT/ST)	4
薬剤師	2
管理栄養士・栄養士	2
主マネ・ケアマネ	9
介護福祉士・介護士	1
合計	39

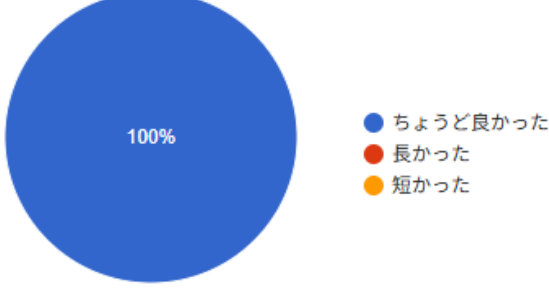
この研修は今後の治療やケアに役立ちますか



グループワークは有意義でしたか



研修時間はいかがですか



印象に残ったこと・意見・感想等

- ・ 今日参加しなければ知らなかった事があまりにも多くあり今年一番充実した研修となりました！
- ・ 大変勉強になりました(類似回答：3件)
- ・ 嚥下評価を見る機会は少なくとても良い勉強になりました  
最後の見た目に感わされないはとても参考になりました(類似回答：1件)
- ・ グループワークへの入り方が良かった
- ・ 嚥下は見かけによらない部分や家族の意思を大切にすることが大事だと感じた
- ・ 他職種でそれぞれの得意分野を発揮し、連携することで不可能に思われることも可能になることに感動しました  
参加して良かったです
- ・ 動画も多く頭に入りやすかったです。グループワークは多職種とお話しできて大変楽しかったです  
話し合う機会をしっかりと作って行けたらいいなと思いました
- ・ 具体的な症例を使いわかりやすかったです。グループワークでも活発な意見交換ができました
- ・ 事例のビデオを見て勉強させていただきました  
「食べる」ことの大切さを改めて感じました  
介助した後の口の中の写真を見て改めて介護側の対応の大切さを感じました
- ・ まさに今、特養で起こっていることをグループワークできて学びの場になりました  
一人一人の食べる支援＝生きることになり丁寧にご本人・ご家族と日々関わっています
- ・ 歯科医である力丸先生だからわかる対応があると思いました

- ・食事行動について4つの分野からアセスメントし対策を考えることで具体的な方法を検討できると思った  
さまざまな職の方と話す機会ができて良かったです
- ・実際の症例を通して研修ができたので実地に応用できそうです
- ・今後の参考になりました
- ・摂食嚥下機能評価はどの職種にも共有できるアセスメントです  
本人の人生にこれだけ寄添わないと変化しないケースがありますね  
多職種が積極的に意見出しすることが重要です
- ・グループワークの中に医師も入っていたのでとても勉強になりました  
嚥下に対する支援は難しく肺炎を起こされるたびにその難しさを再認識させられます  
またこのような機会を作っていただきたいです
- ・グループワークを通して多職種の方から多角的な目線で発言があり盛り上がりました。楽しい研修でした
- ・事例も考え方もとても有意義で勉強になりました
- ・摂食嚥下についての事例検討などする機会がなかったため多職種で意見交換出来て良かったです
- ・経口摂取の限界は多職種の関わりによって引き延ばせるのだと感じた  
本人・家族の意思を尊重し「食べられない」も支えていきたいと思った
- ・事例が思いがけないものだったり、グループ内でいろいろと意見を共有できたりして楽しい時間でした